



但馬やまびこの郷  
令和7年3月  
Web版

「学校に行きづらい」「教室に入りにくい」児童生徒の  
保護者のみなさまにお便りします

# やまびこ



やまびこの郷で

お問い合わせはこちらから [クリック](#)



## 保護者の方も **ホッ** としませんか

保護者の方同士がつながったり、相談したりできる取組を紹介します。

マークをタッチすると詳細をご覧ください。

### やまびこ親の会

保護者の方同士がつながり、交流できる1泊2日の会  
※お子さんの利用がない方も大歓迎  
日帰りでの参加もOK



おしゃべりもはずむ  
楽しい製作活動体験

ゆったり温泉♨  
心も体もリフレッシュ



話して聴いて  
ほっとする保護者交流会



やまびこ食堂の  
おいしい食事

### 保護者交流会

悩みを話したり、情報交換をしたりできる交流会



#### 保護者の方の声

- ・悩んでいるのは自分だけじゃないと、救われる思いになった。
- ・いろんな選択肢や居場所があるとわかってほっとした。
- ・悩みを話せて、心が軽くなった。 など

年間35回の宿泊体験入所の初日に行っています。  
また、「地域やまびこ教室」においても、子どもたちの活動と並行して行っています。

「地域やまびこ教室」の詳細は[こちらから](#)

### 来所相談・電話相談



施設見学、心理士による相談、  
所長相談は、保護者の方のみ  
でもできます。

電話でのご相談もお受けしております。

見学・相談申込、電話相談は ☎ [079-676-4724](tel:079-676-4724)まで

こんな場所もありまよ

やまびこいろりCafe



お子さんの活動中、  
かやぶき屋根の「いろりの館」で、  
ゆっくりとくつろぎながら  
過ごしていただけます。



# てっちゃんからのメッセージ



## 「やまびこの郷」で起きる

## ドラマとパワースポット



兵庫県立但馬やまびこの郷所長

齊藤 誠一

まず、「やまびこの郷」の案内図をご覧ください。  
「やまびこの郷」の入口から少し進み、★印のところ（★地点）に立っていると想像して下さい。左手に「虹の館」、右手に階段が見えます。いつも、ドラマはここから始まります。



### ドラマ「たった 46 段の階段」

「やまびこの郷」ご利用の際には、まず「やまびこの館」の受付においていただきます。そこに行くには、★地点の右手の階段を上ります。まず、下から 14 段上ると踊り場があり、そこからさらに 14 段上ると、ちょっと広い踊り場に着きます。ここから少し歩くと最後の 18 段の階段があり、これを上りきるとようやく「やまびこの館」の玄関が見えてきます。4 泊 5 日を過ごすために、大きなスポーツバックやスーツケースを持ちながら、合計 46 段の階段を上ることは結構な運動です。ただ、この階段を目にした時の気持ちはお子さんによりいろいろです。

まず、初めて当所に 1 日利用で来られたお子さんにとっては、車から降りたところからまったく知らない世界ですので、不安が大きいと思います。お子さんによっては、車から降りることもむずかしいかもしれません。そして、この階段を上り、受付を済ませるとようやくその日の活動に加わります。階段の上には知らない場所があり、知らない人たちがいると思うと、この階段を見上げたときに不安がマックスになるお子さんもいると聞きます。お子さんによっては、富士山に登るくらいきつい上りかもしれませんし、引き返したくなる気持ちになるかもしれません。この大変な階段を上ると、当所のスタッフが笑顔で出迎え、その日のプログラム会場に行けば、すでに宿泊しているお子さんたちが声をかけてくれたり、わからないことを教えてくれたりします。それでも緊張は続くかもしれませんが、たいていのお子さんが楽しい時間を過ごし、その日の活動を終えて、帰途につきます。階段を下りる足取りは朝とはちがって、時々後ろを振り返り、「また来てみたい」と思ってくれるお子さんも多いようです。同じ 46 段の階段に対する気持ちも上り下りでは異なると言えます。

そして、初めての宿泊。もう大分慣れてきたとはいえ、一人での宿泊。「やまびこの館」に行く前に、この階段が立ちはだかります。ようやく階段の下にたどり着いても、スムーズに上がれるお子さんもいれば、足取りが重いお子さんもいます。ご一緒の保護者様も同じ気持ちかもしれません。重い荷物と、たくさんの期待と不安を持って、階段を一段一段上ります。受付で知っているスタッフに会うと、少し気持ちが楽になります。何度も宿泊体験をしていくうちに「やまびこ

の郷」の生活の楽しさを知り、ルンルンで（古い表現ですが）階段を上っていくお子さんもいます。

4泊5日の最終日は、お昼ご飯を食べての帰宅になります。スタッフが保護者様と面談をしている間、その週一緒に宿泊した仲間と、卓球やビリヤード、おしゃべりで最後の時間を過ごします。帰宅の時間になると、うれしそうに歓談をしながら階段を下りるお子さんもいれば、何度も後ろを振り返りながら「もっといたいなあ」と言ってくれるお子さんもいます。もちろん、やっとスマホゲームができると言って、階段をかけ下りるお子さんもいます。

たった46段の、ものの30秒前後で上り下りできる階段ですが、階段の上りと下りにはそれぞれのお子さんにちょっとしたドラマがあると書いていいかもしれません。そうした意味で、この階段はドラマを作ってくれる舞台と言えましょう。

### ドラマ「手を振る謎の集団」

★地点では、他にもドラマが起きます。木曜日の9時半頃と16時過ぎ、金曜日の13時過ぎ頃、謎の集団が手を振る光景を見ることができます。想像するとちょっと不気味な気もしますが、この謎の集団は当所のスタッフです。木曜日は「遠くへ出かけよう」というプログラムで、マイクロバスに乗って、やまびこの郷から少し離れた場所へ行って、活動します。このマイクロバスが出発するときと到着するときに、スタッフが「いってらっしゃい」「おかえりなさい」と言いながら手を振ります。そうすると、お子さんたちも車内から手を振り返してくれて、言葉のやりとりはないけれど、手を振ることでコミュニケーションができあがります。金曜日は、宿泊を終えて、家に帰る時に、スタッフ全員で手を振って見送ります。★地点では、駐車場に向かうお子さんに「また来てねえ」と声をかけながら手を振り、お子さんが乗った車が通り過ぎる時にも同じように手を振ると、お子さんたちも車内から、あるいは窓を開けて、手を振ってくれます。ここでも、手を振るということで心が通じ合うことになると思います。飛行機に乗ったことがある方は、飛行機が滑走路の出発点に向かって、誘導路を走り始めるとき、空港の地上スタッフが並んで手を振ってくれるのを見たことがあるのではないのでしょうか。これは、「グッバイ・ウェーブ」といって、日本のあるエアラインが那覇空港で搭乗客のみなさんに感謝の気持ちを伝えるために始まった挨拶と言われています。「手を振る」ことには、いろいろな気持ちが含まれていると思いますが、お子さんたちに「ここには自分を待っている人がいるんだ」という気持ちになってもらっているのではないかと思います。

★地点は、新たな心のパワーを生むきっかけを作ってくれるパワースポットのように思います。実は、「やまびこの郷」にはいくつものパワースポットがありますが、それはおいでになってからの楽しみにしたいと思います。でも、もしかしますと、ふだん生活している中にこうしたパワースポットはあるかもしれません。なぜかそこに行くと気持ちが明るくなる部屋、なぜか一緒にいるとホッと安心できる人など、いろいろなところに心のパワーを生んでくれる環境はないのでしょうか。場所や物、人など自分を取り巻く環境を見直してみると、自分にとってのパワースポットが見つかるのではないかと思います。

## 「地域やまびこ教室」思い出の一コマ

「地域やまびこ教室」では、但馬やまびこの郷のスタッフが県内5か所へ出かけ、体験活動や保護者交流会を行っています。

今回は、第3回～第5回のように紹介します。

### 第3回 国立淡路青少年交流の家（9月25日～26日）



ディスクゴルフ

1日目は、ディスクゴルフと浜辺散策で交流を深めました。保護者交流会では、卒業後の進路や生活リズムなどの話題を中心にたくさん情報交換ができました。夜はウミホタルと星の光に癒されました。2日目は、親子で魚釣りをしました。釣れる度に歓声が上がっていました。



魚釣り体験



浜辺散策

### 第4回 県立神出学園（10月25日）



動物とのふれあい

動物とのふれあい体験やリースづくりをしました。はじめは緊張していた子どもたちも、どんどん笑顔になっていきました。

### 第5回 県立山の学校（11月6日）

県立山の学校の生徒の皆さんに教わりながら、スマホスタンドづくりをしました。自分だけのスマホスタンドに子どもたちも嬉しそうでした。



スマホスタンドづくり

## 「進路相談会」を開催しました。

やまびこの郷では、学校に行きづらい児童生徒やその保護者の方を対象に進路相談会を行っています。今年度は、9月29日（日）に開催し、多くの児童生徒や保護者の方に参加いただきました。各校の説明のあと、ブースに分かれて個別相談を行いました。参加者のみなさんは、いくつものブースを回って熱心に話を聞かれています。



個別相談ブース

### ＜参加高等学校等＞

県立神出学園 県立山の学校 吉備高原学園高等学校 生野学園高等学校  
日ノ本学園高等学校 クラーク記念国際高等学校姫路キャンパス 青山高等学校  
第一学院高等学校養父本校 F.S.播磨西高等学院 大岡学園高等専修学校  
おおぞら高等学院姫路キャンパス 三田モードビジネス専門学校



兵庫県立但馬やまびこの郷保護者向け機関紙「やまびこ」Web版 令和7年3月

- 兵庫県立但馬やまびこの郷 ●〒669-5135 兵庫県朝来市山東町森字向山 3045-101
- TEL (079) 676-4724 ●FAX (079) 676-4721
- E-mail Tajimayamabiko@pref.hyogo.lg.jp